



未来をつくる即戦力

# またこう一郎 通信 第8号

MARUTA KOICHIRO TSUSHIN

# 自民党

未来をつくる  
即戦力

39歳  
3児の父  
神奈川県出身

## PROFILE プロフィール

### 丸田 康一郎 また こういちろう

1985年7月生まれ/蟹座/B型/  
働き盛りの39歳3児の父/  
大和青年会議所所属  
趣味:野球・ジョギング・  
カラオケ  
(サザン・ミスチルが好きです)



- 1985年 生後3か月で、イギリスへ
- 1989年 横浜・本牧で幼稚園時代を過ごす
- 1992年 横浜国立大学教育学部附属  
横浜小学校入学
- 1993年 父の仕事で、イギリス・アメリカへ

- 1998年 開成中学・高校へ。野球部では主将で3番サード。高校3年間公式戦全試合でヒットを打ちました  
俳句甲子園では初出場で、準優勝
- 2005年 東京大学へ。経済学を学びつつ、ヒッチハイクで全都道府県制覇
- 2009年 経済産業省へ。中小企業政策・知的財産政策・法人税改革などに従事
- 2014年 ニューヨークのコロンビア大学院に留学(安全保障専攻)。その後、エネルギー政策・採用・デジタル政策を担当
- 2021年 総理官邸にて、経済・教育・医療・介護政策などを担当



小泉進次郎衆議院議員の街頭演説会に参加(9月8日桜木町駅前)

## 衆議院 自由民主党 神奈川県第13区支部長 (横浜市瀬谷区、大和市、綾瀬市)



## 自民党総裁選 — 今こそ、政治に新しい風を —

人が増え、経済が当たり前成長する時代に作られた「昭和モデル」は、大変優れたシステムでした。大量に供給される労働力を企業や行政が吸収し、経済が伸びることを前提に、道路を始めとする各種インフラへの投資が行われ、それが次の成長を生んできました。

しかし、人が減り、子どもが減り、人手が足りない今、これまでの「昭和モデル」では立ち行かないことは明らかです。



医療・介護・教育・運送・飲食などあらゆる業界で、「人が足りない」。そして、特に若い世代は、「子育て・家庭との両立」「伸びない賃金」に頭を悩ませています。

本来であれば、人が足りないのであれば、給料が上がり、無駄な仕事の見直しが進むはずですが。

しかし、我が国においては、この20年そうした動きは起こりませんでした。なぜか。10年先を考えればやるべきことも、2、3年先のことだけ考えたら、変えない方が「楽」だからです。

20年後を「我が事」として、改革に取り組む若い世代が必要です。「今のままでいいじゃないか」そういった声に対して、「いや、20年後を考えたら、今やらないといけない」と強く言えるような人間が必要です。





激励をいただいた  
小泉進次郎衆議院議員とともに

今回の自由民主党の総裁選挙では、小泉進次郎さん・小林鷹之さんと40代の候補が名乗りを挙げました。また、その応援団には、30代・40代を始め多くの若手の政治家がいます。総理官邸に勤務した2年間、自民党の若手政治家の方とも仕事をさせていただきました。メディアでは報道されませんが、こうした方々が、「次の時代」を作る可能性を感じ、私も政治の世界に飛び込みました。政治に対する信頼は大きく損なわれています。そのことは、支持率はもちろん、低い投票率にも表れています。今こそ、若い世代が新しい発想で、政治を動かす時です。若い世代から政治を変え、政策を変え、そして日本の未来を明るく変えていきます。

## コラム COLUMN



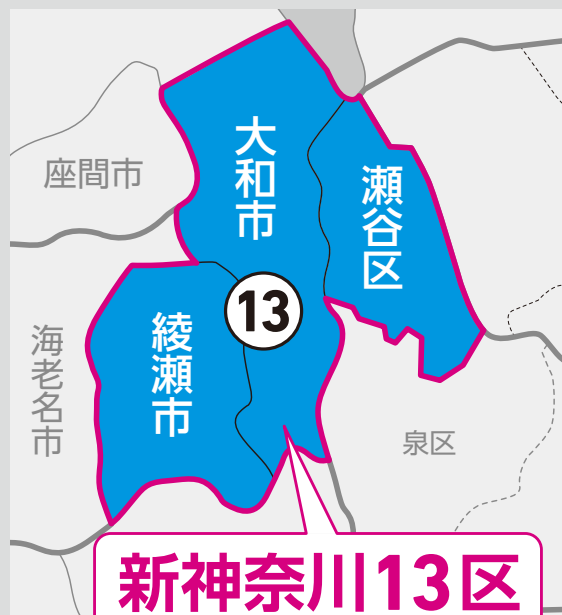
### 脱「昭和モデル」の被災者支援を

今年は大雨・台風・地震と災害を身近に感じる夏でした。災害大国とも言える、日本。東日本大震災では、自治体職員・ボランティアの方々の「現場力」は世界から称賛を浴びました。自ら被災者でありながら、被災者支援にあたる職員の方々に、私も当時大変感銘を受けました。しかし、その後10年を経ても、「避難所は体育館」「高い災害

関連死」の現実を見ると、我が国の「過度な現場依存」に危機感を覚えます。同じく震災大国のイタリアでは、「市民保護局」が発災後48時間以内で衣食住を高いレベルで提供する体制を構築しており、日本における「我慢・忍耐」がいかに特異なものであるかを感じます。「現場」「人」に過度に依存するのではなく、美談を超えた被災者支援体制を構築する必要があります。



公職選挙法の一部改正に伴い、選挙区の区割りが一部変更されました。  
**神奈川13区は横浜市瀬谷区、大和市、綾瀬市です。**  
【第5区から第13区へ移動】横浜市瀬谷区



## ご協力いただける方 募集中!

- ✓ ポスターを設置していただける方
- ✓ チラシのポスティング・駅頭活動・運転・事務作業などご協力いただける方
- ✓ 後援会に入会いただける方
- ✓ 自民党員となっておいただける方

事務所までお気軽にご連絡ください。



また こう一郎 事務所

〒242-0016

神奈川県 大和市 大和南 1-14-3 中丸ビル201

TEL 046-264-5666 (平日9時-17時)

Mail info@marutakoichiro.com

HP https://marutakoichiro.org

公式LINE  
友だち募集中!

